

すぐに直したい

早く効果を出したい

やる気を起こしたい

大宮らしくありたい

まちを活性化させたい

歩きたくなることから始めよう！～優先的に取り組むべきプロジェクト～

プロジェクト1 「おもてなし歩行エリア」の形成

人が集まる大宮駅を中心に、道路整備や周辺の市街地整備と連携しながら、歩行者や自転車、公共交通を優先する交通体系へ転換し、誰もが安全に、まち歩きを楽しめる時間消費型のまちの実現を図ります。

歩行空間の快適化

- 面的な交通規制や歩行空間の改善、緑化や景観形成、情報サービスの充実など、ソフトとハードの両面から歩行空間の快適化を図ります。
- 当面の具体化を目指すエリアや将来的な目標とするエリア等を設定し、段階的な実現を目指します。

シンボル都市軸の整備

- 氷川参道の緑との連続化を図るとともに、歩行者や自転車の空間整備を推進します。
- まちの顔にふさわしい沿道景観の形成や眺望を確保します。

東西連絡の強化

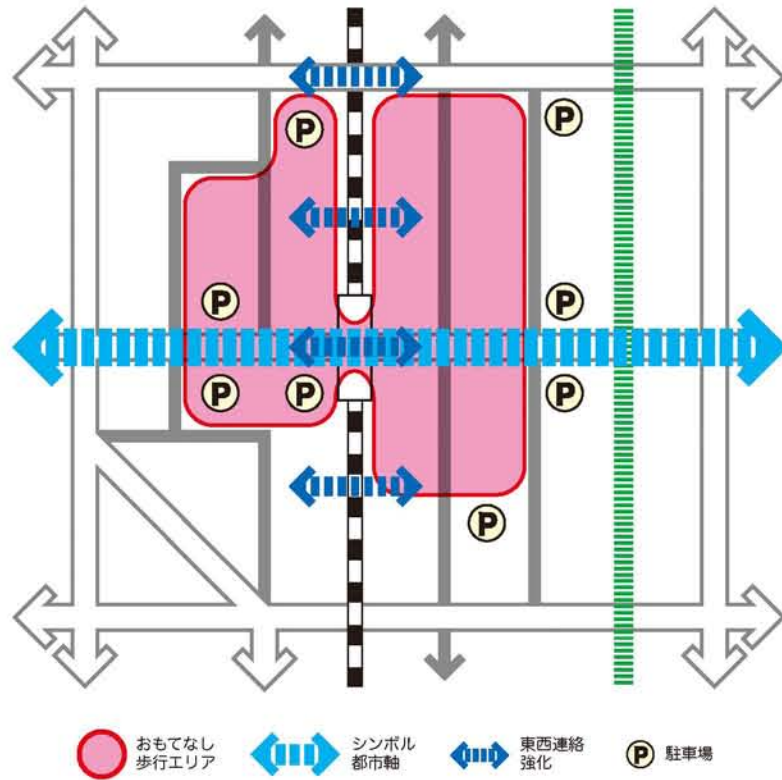
- 東西連絡路の利便性を改善するなど、東西連絡の強化について検討します。

駐車場・荷さばき交通の整序

- 駐車場出入口の改善、集約駐車場の整備、荷さばきに関するシステム構築などにより、道路の出入りに伴う渋滞や歩行者との交錯を軽減します。

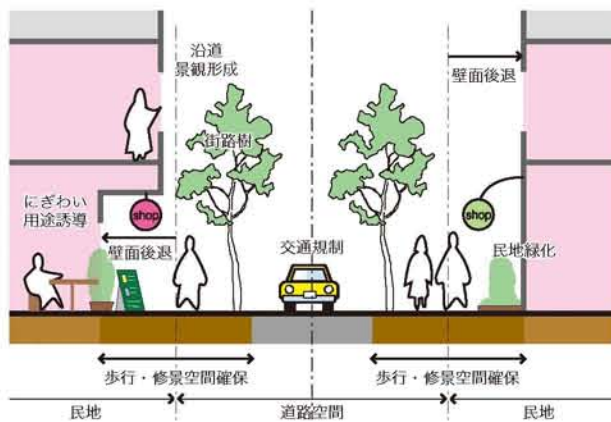
自転車や公共交通の利用環境改善

- 自転車ネットワークや駐輪場を整備します。
- レンタサイクルやパークアンドライド等のサービス、バスなど歩行者の移動をサポートする交通手段を提供します。

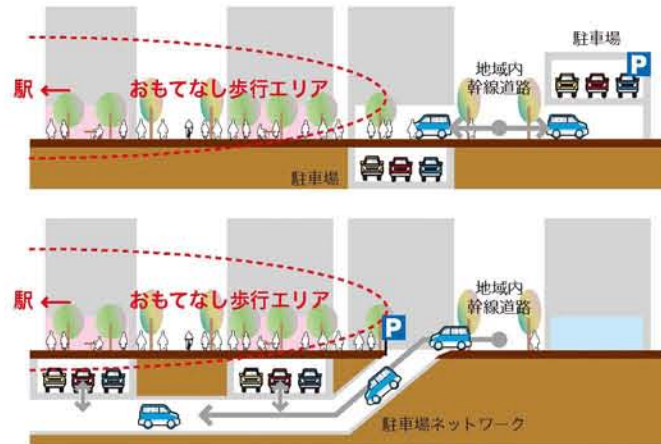


○ おもてなし歩行エリア ⇄ シンボル都市軸 ⇄ 東西連絡強化 P 駐車場

歩行空間の改善イメージ



駐車場の集約イメージ



取り組み方 (例)

① おもてなし歩行エリアの設定

- 当面の具体化を目指すエリアや将来的な目標とするエリアの設定

② エリア形成に向けた意識の醸成

- 社会実験や部分的な先行整備などから段階的な歩行者優先化に着手

③ 民官連携による取り組み本格化

- 民間による沿道空間や民地内通路等の整備と、行政による公共空間整備の推進

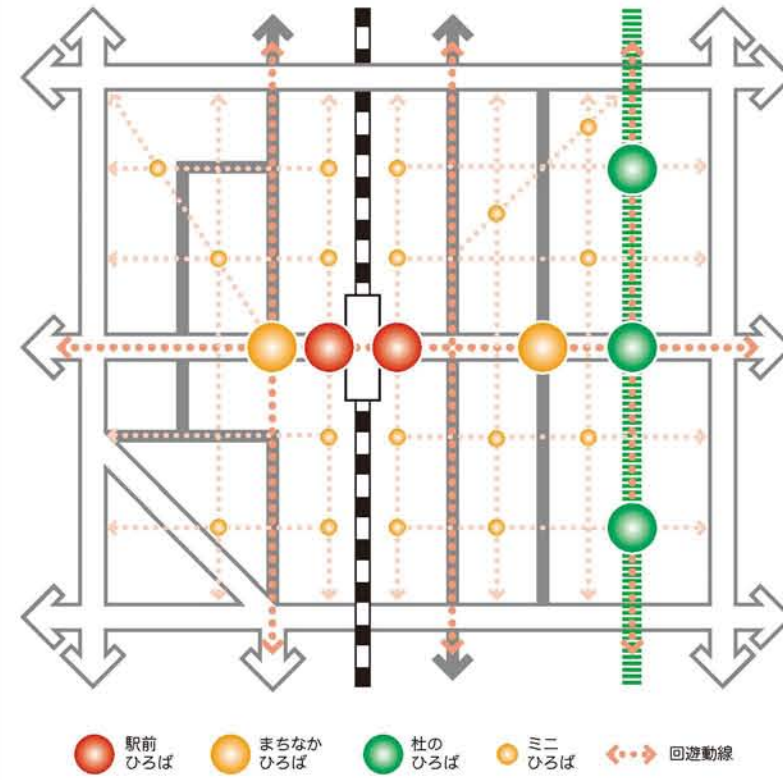
④ 範囲の拡大や内容の充実

- 効果や課題をふまえたエリアの拡大や内容充実に向けた検討

取り組みの内容や取り組み方は今後の検討の中で具体化を図ります。

プロジェクト2 「おもてなしひろば」の創出

まちなかのにぎわいや回遊の促進、都市の安全性や環境向上などに寄与する「機能」と、人が集い、憩い、楽しめる「空間」を備えた、大小さまざまな「ひろば」をまちのいたるところに配置することで、まち歩きの魅力を高めていきます。



● 駅前ひろば ● まちなかひろば ● 杜のひろば ● ミニひろば ⇄ 回遊動線

駅前ひろば

- 広域からの来街者も日常利用者も共通して誇れるまちの顔を創出します。
- 交通結節機能だけでなく、人優先の空間としての整備を進めます。

まちなかひろば

- 駅前からまちなかに人をひきつける魅力ある空間と機能を持たせることで、駅前の賑わいを広げます。
- 東口では、周辺街区の整備とあわせて「ひろば」を創出し、西口では、既存の鐘塚公園やイベント広場のより一層の活用を図ります。

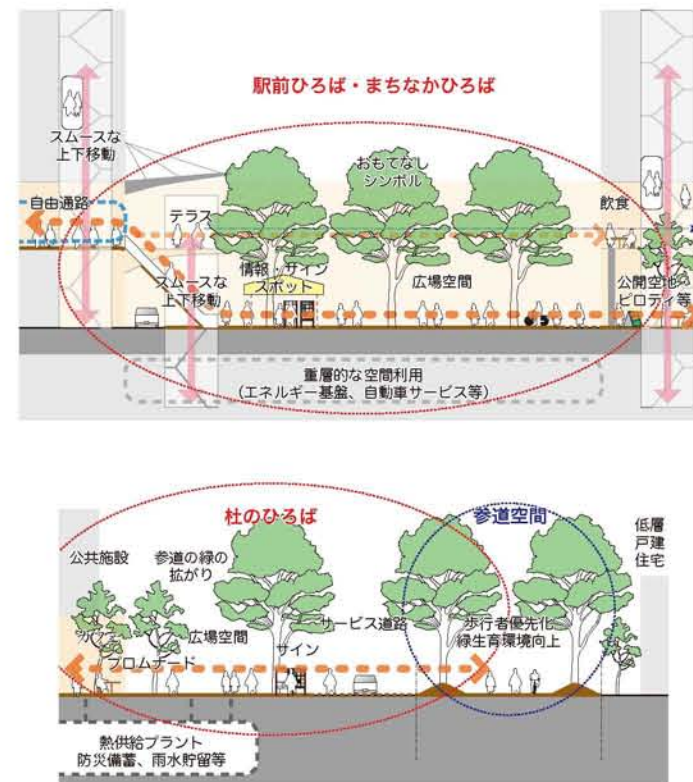
杜のひろば

- 氷川参道の緑を抜け、参道散策の立ち寄りスポットとして都心全体の回遊性を高めます。
- 新たなひろばの創出とともに、既存の平成ひろば、一の鳥居ひろばの活用促進を図ります。

ミニひろば

- 人々の憩いスポットをまちの各所に生み出し、高密度な市街地の環境を改善します。

ひろばのイメージ



取り組み方 (例)

○ 駅前広場と周辺街区の協調による整備

- 多様な機能を導入するための適切な区域設定や空間の重層的な活用
- 交通結節点としての利便性の向上

○ 再開発や市有地の活用による整備

- まちづくりの促進とあわせた賑わい空間や公的機能の導入

○ 公共施設の再編による整備

- 施設活動との連携や氷川参道の環境向上と調和する空間や機能の導入

○ 民間開発における整備の誘導

- 建替にあわせた多様な「ひろば」創出の展開に向けた、ルールや支援制度の構築

取り組みの内容や取り組み方は今後の検討の中で具体化を図ります。